



進捗報告

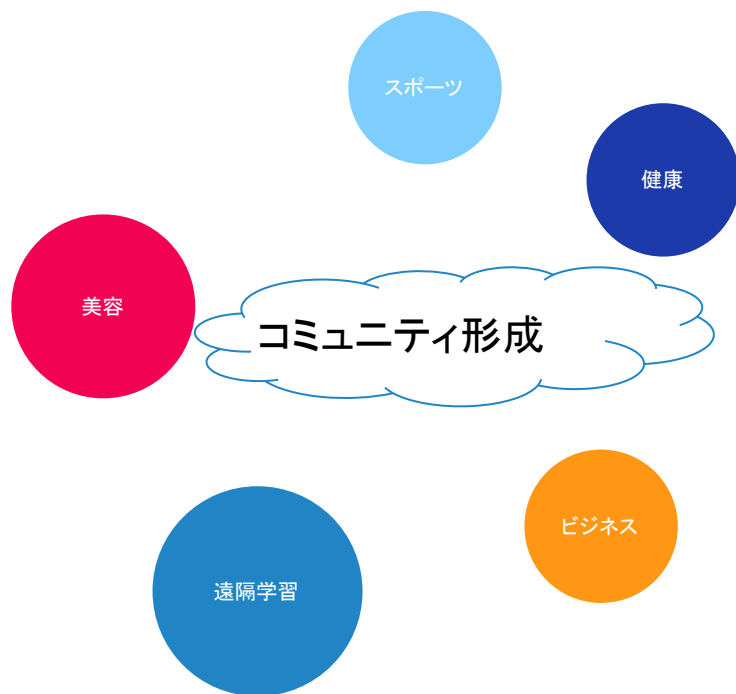
コミュニケーションスキル班 B4 熊沢律紀

2022/11/10

コンセプトの変更

Web会議を主軸にした自己実現コミュニティの形成支援アプリケーション

変更前



変更後



自己実現とは？？？

自己実現の定義

「自分ができる最大限のことをすることで、自分自身らしくなっている状態」

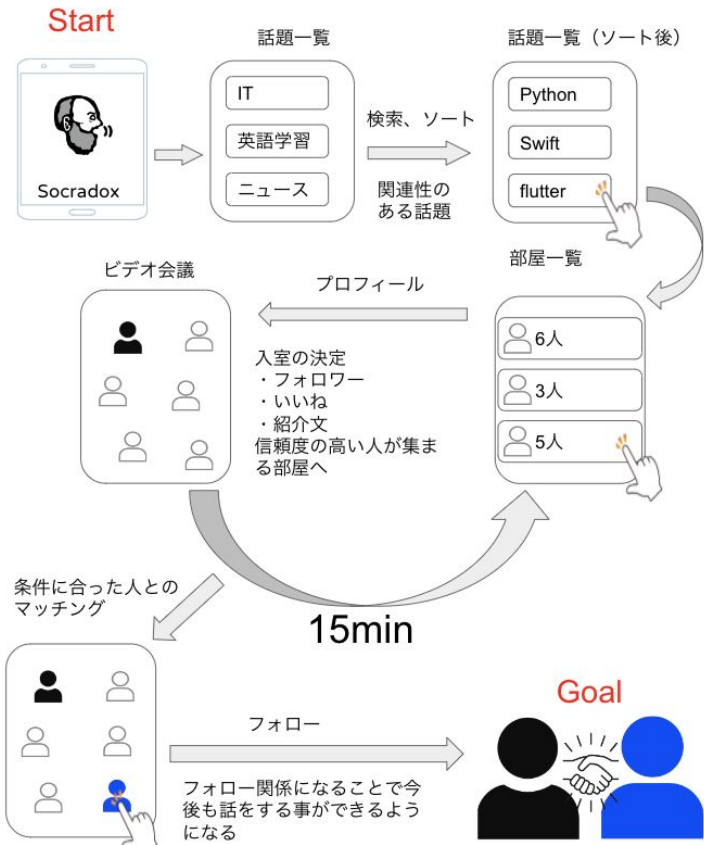
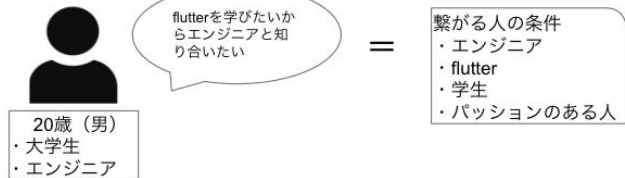
自己実現の観点からシステムの変更点

実験、初期リリースver

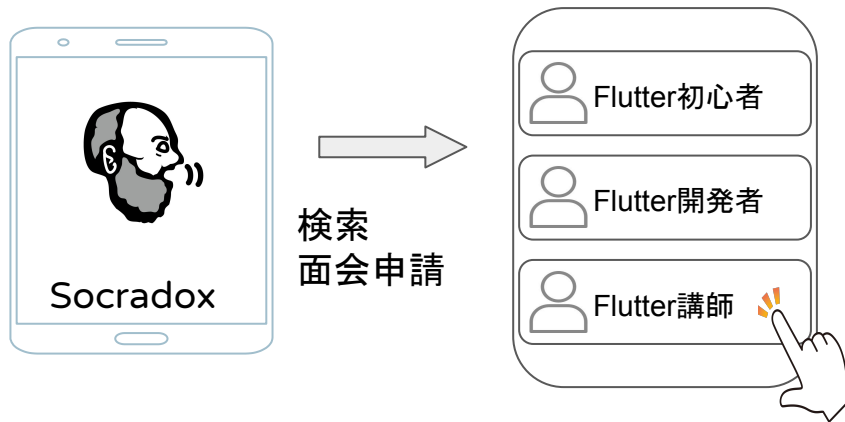
- ・面会機能
- ・スケジュール機能
- ・UIの変更
- ・ストリームの廃止
- ・ユーザーのお気に入り登録
- ・ビジネスアカウント(15分制限解除、広告非表示)

- ・アプリ内ビジネスの収益化
- ・イベント(大規模なルーム)
- ・ブロックチェーン関連(トークン発行で投資、契約、土地)

()内はアップデート予定



Start



集団+個人の2択から目的へのアプローチ

目的に対するコミュニティ形成を円滑に

システム有効性の検証

課題:

- ・自己実現の達成(目標の完了)を検証する には長期間にわたる可能性がある
- ・自己実現を対象にする場合メタ的検証が必要になる

自己実現の第一歩の目標と合致したコミュニティに参加出来たのかをメタ的に検証

評価対象の要素

- ・アクティブ率(長期的要素である為抜くかもしれない)
- ・フォローフォロワー数
- ・参加コミュニティ数

 users



 2QKoYiM21LNhTClcn05TCR3Licx2



+ ドキュメントを追加

+ コレクションを開始

2QKoYiM21LNhTClcn05TCR3Licx2

+ フィールドを追加

UK1DGEKgxagojWOWABnBnl

bio: ""

displayName: "りつきです！"

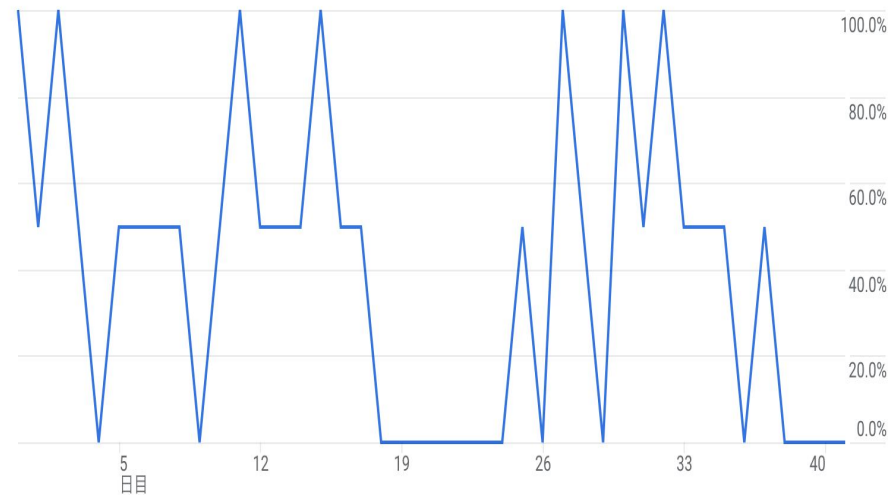
email:

inAppUserName: "yuba"

photoUrl:

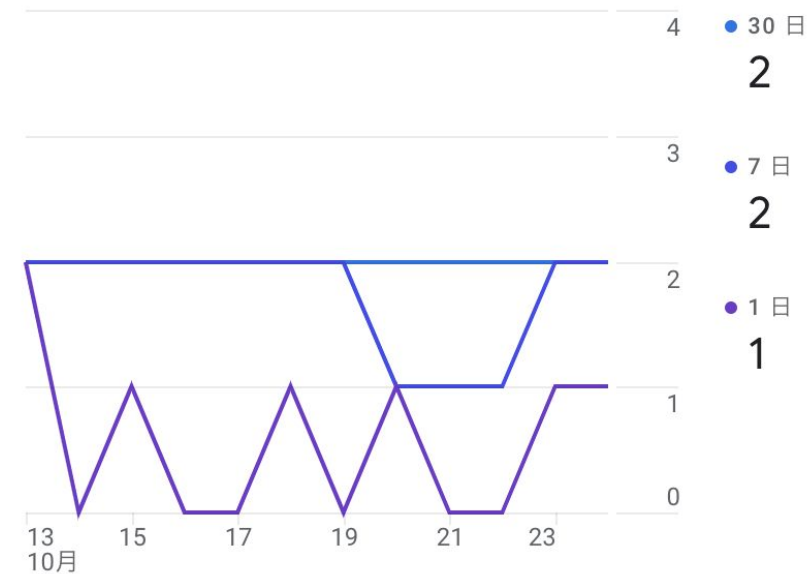
userId: "2QKoYiM21LNhTClcn05TCR3Licx2"

ユーザー維持率



過去42日間 (10月24日まで)

ユーザーのアクティビティの推移



自己実現の評価尺度から調査

アプリ内の活動によって被験者の自己実現に対する評価を評価尺度と照らしながら調査する

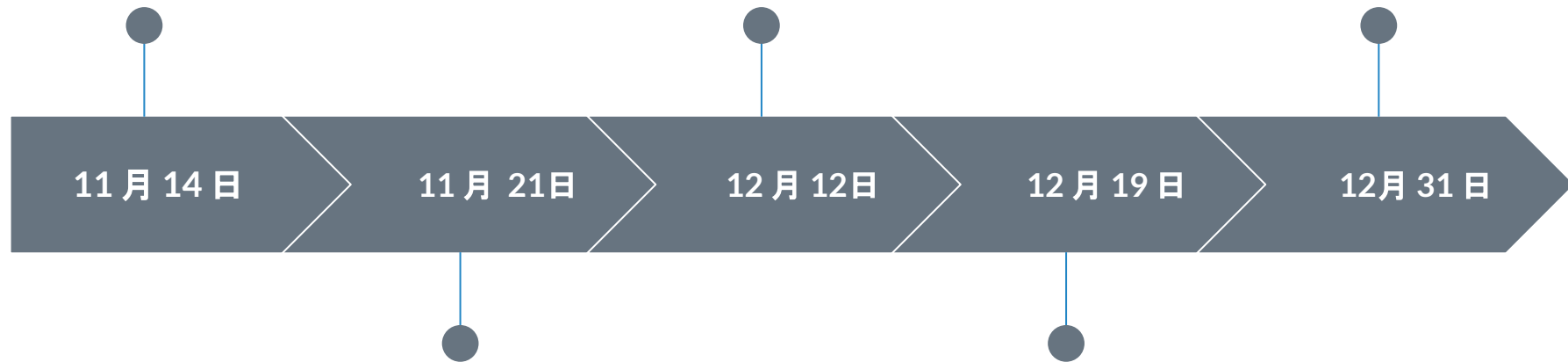
(尺度の選定は未完了です)

今後の予定

開発

有効性の検証

卒論執筆完成



実験計画書等完了

分析・考察

進捗報告まとめ

1.コンセプトの変更

網羅的なコミュニティ形成から自己実現を中心としたコミュニティ形成

2.自己実現とシステムの変更点

自己実現を達成するにはどうしたら良いのか？

3.有効性の検証

メタ的な検証を行うためユーザーの主観を排除